

県トヲ新聞

社長
雑感

二〇二二年を振り返る

早いもので二〇二二年も残りわずかになった。新型コロナウイルスは死者数が減少傾向にあるものの、感染者数が大きく増えている。その累計は二五〇〇万人を超え、実に国民の五人に一人が感染したことになる。死亡リスクがインフルエンザ並みになったにもかかわらず、濃厚接触や感染の対応については厳格に管理されており、人々の新型コロナに対する恐怖心は消えていない。その為、会合や会食などのコミュニケーションに対する抵抗感も強く、再開は暫く難しいのだろう。

三年にわたる流行は、人々の精神面にも影響を与えている。二〇代の女性を中心に若者の自殺が増えている原因は(二二年間で八〇〇〇人増加)コロナによる経済的な困難や孤独感による可能性があるとのことだ。予防にばかり躍起になり、心のケアを怠った結果だと思ふ。

加えて、世界各地での紛争も人々に暗い影を落としている。将来が見通せない不安が世界を覆っている。第二次大戦後の長く平和な時代が絶対的なものではないという思いを抱かざるを得ない。独裁的なリーダーたちは今後、世界の平和にどのような影響を与えて行くのだろうか？

今年の漢字は「戦」が選ばれた。その意味は、いくさ・たたかう・おののく・そよぐ、だそうだ。現代の世相を表している。しかし、悲観的にばかりなっているのではない。そんな時代をどう生き抜いていくかを真剣に考える事が必要だ。

今すべきことは、この時代を様々な情報を通して学び、自分としてどのようなアクションを起こすのかを描き、実践していく事である。不満をどれだけ並べても、人を批判しても幸福は訪れない。現状維持を望む人は何かと無関心を装うが、これから大変な時代が訪れる事は避けられないだろう。それは悲観ではなく、現実だと思っている。

富山県トラックは今年、そのような状況の中自動倉庫の改修と本社倉庫の一部を定温倉庫に改築した。二〇二〇年で最大の設備投資だ。現状維持を打破しての挑戦だ。これが正しいアクションだったことは、近い将来わかると思う。今後、難しい時代だからこそ、お客様が何を必要としているかを真剣に考え、挑戦を続けていきたい。

今年一年有難うございました。来年も宜しくお願ひします。良いお年をお迎えください。

吉澤比佐志

第82号

発行者
富山県トラック(株)
富山市水橋沖188
TEL 076(479)6311
FAX076(479)6300

今第82号は

田村・野口が
担当しました

次回担当は

春田さん
野口勇さん
よろしく
お願いします

新車が仲間入り

この度、本社に大型ウイング車三台が新たに納車されました。富山県護国神社にて安全祈願も行われ、運行も順次スタートしていきます。これからも安全運転でよろしくお願ひします。(田村)



インフルエンザ予防接種

十二月五日(月)にインフルエンザの予防接種が実施されました。今年には西総合病院より来ていただきました。毎年社内でもムズに接種ができ、大変ありがたいです。新型コロナウイルスのワクチンなど予防接種をする機会が増えているかと思いますが、手洗いうがいなどできることは引き続き行っていきましょう。

これから本格的な冬に入ります。健康に留意して年末年始を迎えましょう。

(野口)



カレー大好き

最近カレーを食べる機会が増えた田村です。

皆さんはどんなカレーが好きですか？家で作るカレー、スパイスが効いた辛いカレー、ナンと一緒に食べるインドカレー、ご当地のレトルトカレーも美味しいですよ。

この前、富山駅で開催されたイベント「ほん」とカレーなんていつでも食べたい二〇二二に行ってきました。県内外のカレーのお店一〇店舗が出店しており、大勢の人で賑わっていました。到着した頃には人気のカレーはすでに売り切れてしまいましたが、無事に他の気になっていたカレーを食べることができました。今回食べることができなかったお店には直接行ってみたいと思います。富山駅では定期的なこういったイベントが開催されているみたいなので、要チェックです。

さて今回は、私が行ったことのある美味しいカレー屋さんを紹介したいと思います。気になったお店があればぜひ行ってみてください。

①谷中草庵

富山市にある日替わりのカレーを食べることができ予約制の小さなお店です。月に一回ほど、スパイスはほんのりという普段より辛いカレーを食べることがあります。

(私はちようどその日に行きました!)味は三種類ほど、副菜もあり飽きることなく食べられます。毎回違う味が楽しめるので、何回でも通いたくなります。

②カレー食堂コロポ

立山町にあるスープカレーのお店です。富山でスープカレーを食べることができるお店って少ないですね。人気なお店なので少し待つかもしれませんが、とっても美味しいです。私のおすすめはまるやか豆乳・味噌スープ味です。具材も大きく、野菜もしっかりとれます。ぜひ一度、ご賞味あれ! (田村)



①谷中草庵 右からサバとかぼちゃのポタージュ、ささみと大豆のキーマ、サンバルです



②カレー食堂コロポ セットでサラダがついてきます



NOUGHT'S COLUMN 新年度 目標に向かって

寒さも日ごと増します今日この頃です。皆様いかがお過ごしでしょうか？運輸部の野口です。十二月に入り、県内もイルミネーションが点灯される時期になりましたね。市街地を通ると、道路一面が綺麗な光に彩られ、目を楽しませてくれます。

さて、十二月といえば皆様は何を思い浮かべますか？我々大人はまさに「師走」と言わんばかりに、年末年始の準備で慌ただしい方も多いかもれません。私もその一人です。一方で子どもが思い浮かべるのは、きっとクリスマスです。良い子にしていればきっとサンタさんが来てくれるとツリーやリースを飾っているのではないのでしょうか。今は大人になって自立してしまいましたが、子どもたちが家にいた頃は、我が家もリースやツリーを飾ったり、子どもたちがサンタさんへの手紙を書いたり、クリスマス一色でした。我が家には今も楽しかった思い出と共にクリスマスリースやツリーが残っています。

そんなクリスマス準備として私たちの印象づけられているクリスマス飾りですが、調べてみるとツリー、リース、オーナメント、さらには使われている色まで、それぞれにきちんと意味があるそうです。全てを記載することはできませんが、その中でも、サイズが小さく、気軽に準備出来るリースには「魔除け」「豊作祈願」「新年の幸福祈願」という意味があるそうです。

「玄関先に飾ることで家を守り、飾られている果実が豊作を祈願し、そしてクリスマス後にやってくる新年の幸せを祈願する」

家族と過ごすにはぴったりの、素敵な意味が込められていますよね。日本の年末年始の準備にも、幸福を祈る様々な意味が込められています。欧米もそれは同じなのです。どこかクリスマスと聞くと、日本人の私には、子どもが中心になるものというイメージもありましたが、飾りにもすべて意味があり、大切な家族と幸せに過ごすための準備だということを知ると、年末年始同様に大人にも必要な行事だと感じました。玄関に飾った、懐かしいあの小さなクリスマスリースが恋しく思えてしまいました。

一年の締め括りである「師走」で忙しい人も多い大人の私たちですが、少し肩の力を抜いて、大切な人々と家で過ごす時間も大事にしていきたいですね。そして、その時間を糧に、残りの目標や仕事に取り組みしていきたいですね。そうすればきっと、来年も良い年になると思いませんか？

皆様、今年一年ありがとうございました。どうか大切な方々と、良いお年をお迎えください。

(野口)

